

研究ノート
金融仲介の概念に関する試行的な調査票調査について

吉田康志

1 はじめに

金融仲介に関しては、一般的には、まず、銀行などの金融仲介機関が、預金者から資金を預金の形で集め、それを一旦保管しておき、次に企業などの資金需要者に対してその保管されていた資金を貸し出すという図式（以下、「伝統的金融仲介」という。）で捉えられていることが多いと考えられる¹。

しかしながら、銀行実務を前提にするならば、伝統的金融仲介の図式では実際の貸出の過程が把握されておらず、理解が単純に過ぎる²。また、預金受入と貸出の結合の結果として実現する銀行の機能（流動性供給機能³）を考慮すると、伝統的金融仲介の図式で説明されるような資金の流れは、理屈の上からも、全体の資金の流れのごく一部を占めるに過ぎないと言わざるを得ない。

それでもなお、伝統的金融仲介は資金の流れの理解に関する人口に膾炙した図式であって、一般の人々にとっては「常識」として受け入れられている可能性がある⁴。しかしながら、実際問題として、伝統的金融仲介の図式がどの程度まで浸透しているかについて実証的なデータがあるわけではない。

そこで本稿では、金融仲介に関する見方について大学生を対象として試行的に実施した調査票調査の結果を紹介する。

2 調査の方法等

2.1 調査対象

¹ 一例を挙げると、一般的な国際経済学のテキストである Krugman, Melitz and Obstfeld (2018)には、銀行の機能を説明した次のような一文がある。「Banks use borrowed funds to make loans and to purchase other assets...」(p650)

² 例えば、Werner(2014)は、貸出実行時の実際の預金取扱金融機関の勘定系システムの動き（貸出の実行と同時に預金が発生）を確認することで、伝統的な金融仲介の図式を批判している。

³ 銀行による「流動性供給機能」については、吉田（2017）を参照のこと。

⁴ 伝統的金融仲介の図式について、吉田（2017）では、「一般のみならず金融の専門家に至るまで広く定着し、人々の「銀行」に対する概念を規定してしまっている」（84頁）可能性について言及している。

本件調査では、筆者の所属する兵庫県立大学の国際商経学部における講義科目「金融論1」および経済学部における講義科目「金融論」の、2020年度前期の履修者（合計116名）を調査対象とした。

2.2 調査方法

インターネット上の調査管理アプリケーションである「Google Forms」を用いて調査を実施した。具体的には、あらかじめ「Google Forms」上で作成した調査用ウェブサイトのURLを調査対象の大学生に対して提示し、各個別にそこにアクセスさせたいうえでインターネット上で調査票に回答を記入してもらう方法とした。

また、調査期間および有効回答数、回収率は以下のとおりであった。⁵

- ①調査期間：2020年6月1日（1日間）
- ②有効回答数：80件
- ③回収率：69.0パーセント（履修者数ベース）

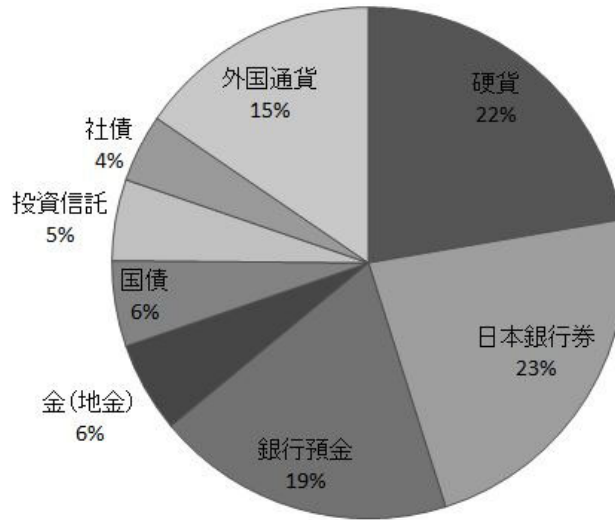
3 調査結果

今回実施した調査票調査の各設問およびそれに対する回答（集計）は以下のとおりであった。

1. 「お金」に該当するものはどれだと思いますか。（複数回答可）

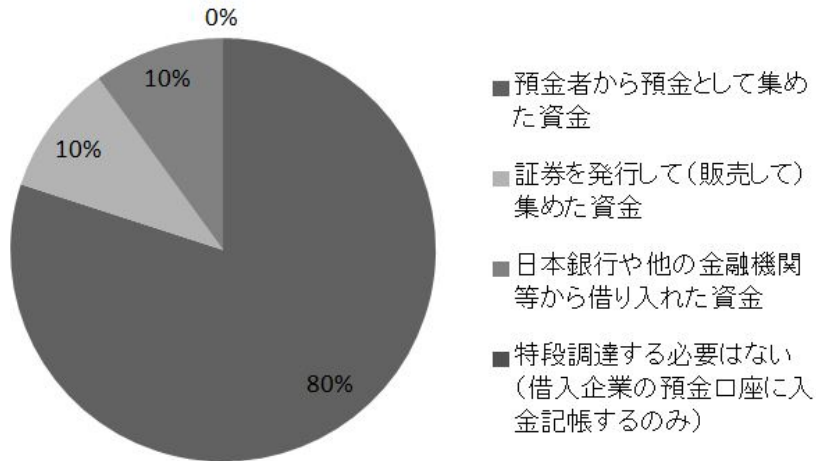
	度数	パーセント
硬貨(コイン)	78	22.3%
日本銀行券(紙幣)	80	22.9%
銀行預金	66	18.9%
金(地金)	20	5.7%
国債	19	5.4%
投資信託	18	5.1%
社債	15	4.3%
外国通貨	54	15.4%

⁵ 本件調査の実施時点において、調査対象となった大学生に対し、調査結果に影響を及ぼす可能性のある金融仲介に関する説明を講義では行っていない。（調査後に説明。）



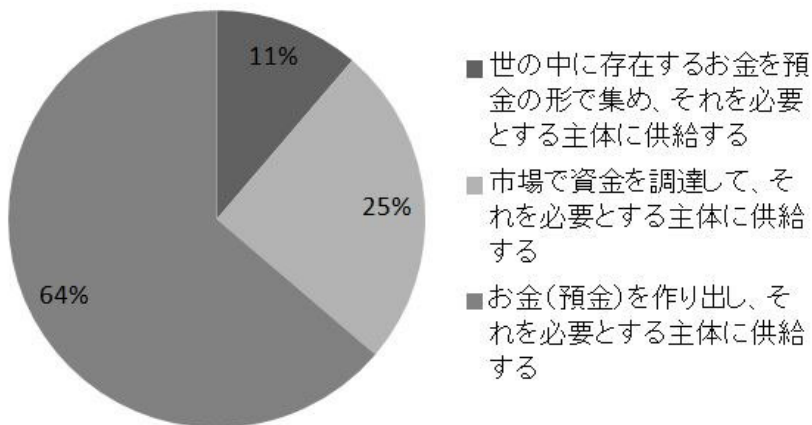
2. 銀行は、貸し出すための「お金」を、主にどのように獲得しているでしょうか。(銀行の貸し出す資金は何が最も主要な調達源になっているか) (最も近いと思うものを一つ選択)

	度数	パーセント
預金者から預金として集めた資金	64	80.0%
証券を発行して(販売して)集めた資金	8	10.0%
日本銀行や他の金融機関等から借り入れた資金	8	10.0%
特段調達する必要はない(借入企業の預金口座に入金記帳するのみ)	0	0.0%



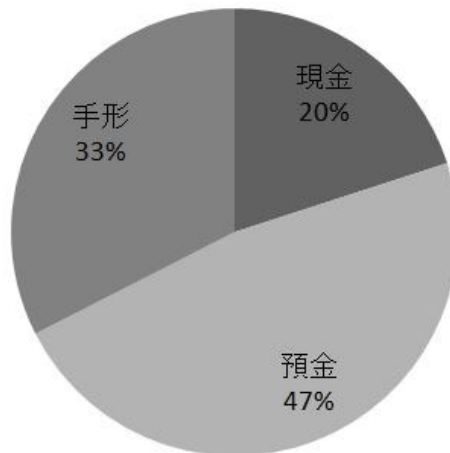
3. 銀行の役割に該当するものはどれだと思いますか。(最も近いと思うものを一つ選択)

	度数	パーセント
世の中に存在するお金を預金の形で集め、それを必要とする主体に供給する	9	11.3%
市場で資金を調達して、それを必要とする主体に供給する	20	25.0%
お金(預金)を作り出し、それを必要とする主体に供給する	51	63.8%



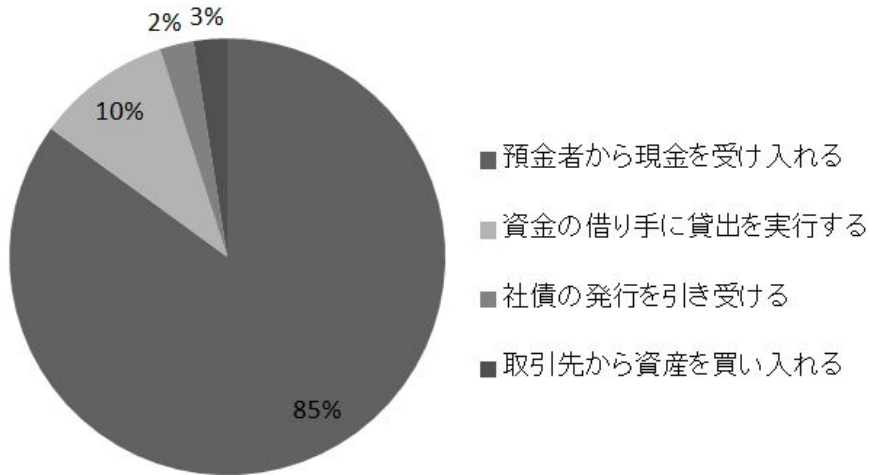
4. 銀行が貸出業務において貸し出すものは何だと思えますか。(最も近いと思うものを一つ選択)

	度数	パーセント
現金	16	20.0%
預金	38	47.5%
手形	26	32.5%



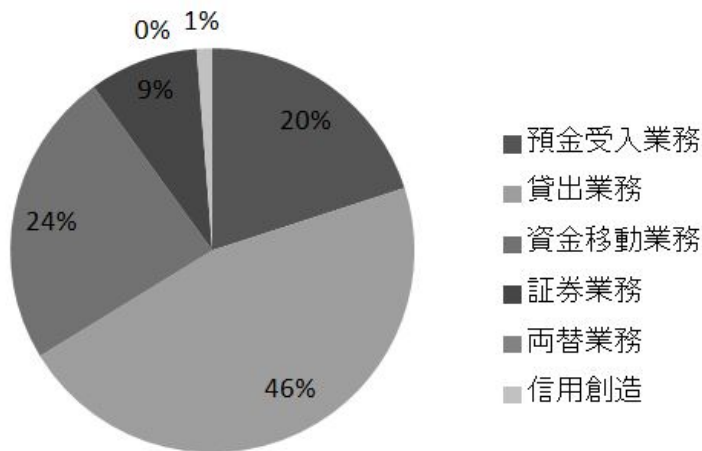
5. 銀行において、預金はどのタイミングで発生すると思えますか。(最も近いと思うものを一つ選択)

	度数	パーセント
預金者から現金を受け入れる	68	85.0%
資金の借り手に貸出を実行する	8	10.0%
社債の発行を引き受ける	2	2.5%
取引先から資産を買い入れる	2	2.5%



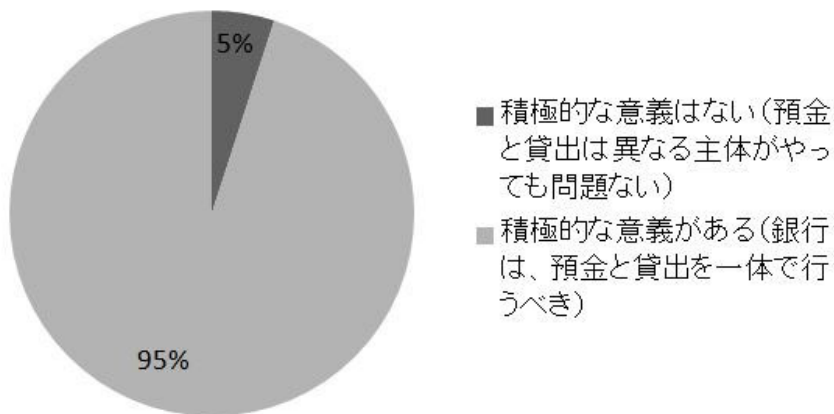
6. 銀行の業務のなかで、最も重要な業務はどれだと思いますか。

	度数	パーセント
預金受入業務	16	20.0%
貸出業務	37	46.3%
資金移動業務	19	23.8%
証券業務	7	8.8%
両替業務	0	0.0%
信用創造	1	1.3%



7. 銀行が預金業務と貸出業務を同時に行っていることに合理的な意義はあると思いますか。

	度数	パーセント
積極的な意義はない(預金と貸出は異なる主体がやっても問題ない)	4	5.0%
積極的な意義がある(銀行は、預金と貸出を一体で行うべき)	76	95.0%



4 むすび

金融仲介に関して一般の人々がどのような概念を持っているかについて把握するため、Google Forms を用いた調査票調査を、大学生を対象として実施した。その結果、銀行が貸出を行うための資金調達源については8割が預金者から集めた資金であると回答し、預金や市場で調達した資金を貸し出すことが銀行の役割であると9割近くが回答し、預金の発生タイミングについて8割以上が預金者から現金を受け入れたときと回答するなど、伝統的な金融仲介の図式が相当に浸透していることが判明した。

今回の調査は、一部の大学生を対象として試行的に実施したものであり、今回の対象が偏りのない標本であるとの保証はない。しかし、類似の調査結果が行われていない現状に鑑みれば、ここで示された結果が、人々の金融仲介概念に関する現状の概略を知る上での一助となることを期待する次第である。

本件調査の最終的な目的は、一般的な意識調査にとどまらず、伝統的な金融仲介概

念の浸透度合いの把握とその理由の解明へと向かうものであるが、それについては別稿に譲る。今後は、調査票の内容を精査・拡充させたいうえで、幅広い対象に対して同趣旨の調査を実施し、上記課題の解明を目指すこととしたい。

以 上

〈参 考 文 献〉

Krugman, P. R., Obstfeld, M., & Melitz, M. (2018). *International economics: Trade and policy*, 11th.

Werner, R. A. (2014). Can banks individually create money out of nothing?—The theories and the empirical evidence. *International Review of Financial Analysis*, 36, 1-19.

吉田康志. (2017). 銀行システムの機能と意義.